

2-2-2 社会的・文化的状況

(1) 人口及び産業の状況

1) 人口の状況

① 人口・世帯数・人口密度等

調査地域の人口・世帯数を表 2-2.47に示す。

平成27年の人口・世帯数は、京田辺市で66,879人、27,124世帯、枚方市で406,133人、176,645世帯となっている。また、人口密度は京田辺市で1,558人/km²、枚方市で6,237人/km²となっている。

人口の推移についてみると、京田辺市は平成23年以降、増加傾向を維持しており、枚方市は、平成24年をピークに減少傾向となっている。

表 2-2.47 調査地域の人口・世帯数

市	年次	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯当たり 人員(人)	人口密度 (人/km ²)
京田辺市	平成23年	63,881	25,148	2.54	1,488
	平成24年	64,636	25,580	2.53	1,505
	平成25年	65,403	25,919	2.52	1,523
	平成26年	66,093	26,584	2.49	1,539
	平成27年	66,879	27,124	2.47	1,558
枚方市	平成23年	406,739	170,402	2.39	6,250
	平成24年	409,964	173,344	2.37	6,299
	平成25年	408,610	174,419	2.34	6,279
	平成26年	407,528	175,717	2.32	6,258
	平成27年	406,133	176,645	2.30	6,237

注. 京田辺市の値は各年4月1日現在。枚方市の値は各年12月末日現在。

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」(平成28年、京田辺市)

：「第45回 枚方市統計書(平成27年版)」(平成28年、枚方市)

② 人口動態

調査地域の人口動態を表 2-2.48に示す。

京田辺市では、平成24年以降も継続して自然動態、社会動態ともに増加を示しているが、枚方市は、平成24年の自然動態のみ増加を示し、社会動態及び平成25年以降の自然動態はともに、減少している。

表 2-2.48 調査地域の人口動態

市	年次	自然動態(人)			社会動態(人)		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
京田辺市	平成24年	566	490	76	3,276	2,403	873
	平成25年	572	532	40	3,003	2,694	309
	平成26年	552	479	73	3,258	2,441	817
枚方市	平成24年	3,263	3,117	146	13,003	13,561	△558
	平成25年	3,178	3,251	△73	13,480	14,761	△1,281
	平成26年	3,061	3,236	△175	13,455	14,362	△907
	平成27年	2,998	3,464	△466	13,582	14,511	△929

注1. 枚方市の平成25年以降の社会動態は、転入又は転出に職権記載及び職権削除を加えた値。

注2. △は人口減少を意味する。

注3. 京田辺市の平成27年の人口動態は、現時点(平成29年3月27日)では公表されていない。

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」(平成28年、京田辺市)

：「第45回 枚方市統計書(平成27年版)」(平成28年、枚方市)

2) 産業の状況

① 産業の構造

調査地域の産業別人口を表 2-2. 49に示す。

平成12年以降の10年間の産業別人口の総数（就業者数合計）は、京田辺市で増加しており、枚方市では減少している。産業別の就業者数では、京田辺市で第3次産業が増加し、第1次産業、第2次産業ともに減少している。枚方市では、第1次産業、第2次産業及び第3次産業とも減少している。なお、平成22年の第3次産業の就業者割合は、京田辺市68.7%、枚方市70.3%と高い割合を占めている。

表 2-2. 49 調査地域の産業別人口

市	年次	項目	第1次産業 (人)	第2次産業 (人)	第3次産業 (人)	分類不能の 産業 (人)	就業者数 合計 (人)
京田辺市	平成12年	総数	802	7,975	18,324	136	27,237
		構成比	(2.94%)	(29.28%)	(67.28%)	(0.50%)	(100.00%)
	平成17年	総数	756	6,911	19,393	760	27,820
		構成比	(2.72%)	(24.84%)	(69.71%)	(2.73%)	(100.00%)
	平成22年	総数	614	6,513	19,797	1,902	28,826
		構成比	(2.13%)	(22.59%)	(68.68%)	(6.60%)	(100.00%)
枚方市	平成12年	総数	1,017	56,779	124,290	4,144	186,230
		構成比	(0.55%)	(30.49%)	(66.74%)	(2.23%)	(100.00%)
	平成17年	総数	1,134	48,251	127,030	4,953	181,368
		構成比	(0.63%)	(26.60%)	(70.04%)	(2.73%)	(100.00%)
	平成22年	総数	871	40,541	121,367	9,901	172,680
		構成比	(0.50%)	(23.48%)	(70.28%)	(5.73%)	(100.00%)

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」（平成28年、京田辺市）

：「平成14年度 大阪府統計年鑑」（平成15年、大阪府）

：「第41・45回 枚方市統計書（平成23・27年版）」（平成24・28年、枚方市）

② 第1次産業

調査地域の専業兼業農家数（販売農家）を表 2-2.50に、経営耕地面積（販売農家）を表 2-2.51に示す。

京田辺市、枚方市とも農家人口、農家総戸数とも減少している。両市とも農家に占める割合では兼業農家が多いが、経年的には減少している。また、兼業農家では農業所得を従とする第2種兼業農家の割合が多い。

経営耕地面積では、両市とも総面積は減少している。また、田、畑、樹園地の種別では、両市とも田の面積割合が高い。近年の推移では、京田辺市の畑面積の増加を除けば、他の耕地はいずれも減少している。

表 2-2.50 専業兼業農家数（販売農家）

市	年次	項目	農家人口	農家総戸数	専業	兼業（戸）		
			（人）	（戸）	（戸）	総数	第1種兼業農家	第2種兼業農家
京田辺市	平成12年	総数	5,132	785	84	701	77	624
		構成比		(100.0%)	(10.7%)	(89.3%)	(9.8%)	(79.5%)
	平成17年	総数	4,546	680	119	561	112	449
		構成比		(100.0%)	(17.5%)	(82.5%)	(16.5%)	(66.0%)
	平成22年	総数	2,749	627	107	520	78	442
		構成比		(100.0%)	(17.1%)	(82.9%)	(12.4%)	(70.5%)
枚方市	平成12年	総数	3,540	725	83	642	55	587
		構成比		(100.0%)	(11.4%)	(88.6%)	(7.6%)	(81.0%)
	平成17年	総数	2,594	584	117	467	55	412
		構成比		(100.0%)	(20.0%)	(80.0%)	(9.4%)	(70.5%)
	平成22年	総数	2,180	520	112	408	41	367
		構成比		(100.0%)	(21.5%)	(78.5%)	(7.9%)	(70.6%)

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」（平成28年、京田辺市）
：「第45回 枚方市統計書（平成27年版）」（平成28年、枚方市）

表 2-2.51 経営耕地面積（販売農家）

市	年次	項目	総面積 (a)	田 (a)	畑 (a)	樹園地 (a)
京田辺市	平成12年	総数	62,722	52,973	4,936	4,813
		構成比	(100.0%)	(84.5%)	(7.9%)	(7.7%)
	平成17年	総数	53,579	45,512	5,752	2,315
		構成比	(100.0%)	(84.9%)	(10.7%)	(4.3%)
	平成22年	総数	53,707	44,964	5,896	2,847
		構成比	(100.0%)	(83.7%)	(11.0%)	(5.3%)
枚方市	平成12年	総数	53,483	45,537	5,855	2,091
		構成比	(100.0%)	(85.1%)	(10.9%)	(3.9%)
	平成17年	総数	31,359	27,256	3,216	887
		構成比	(100.0%)	(86.9%)	(10.3%)	(2.8%)
	平成22年	総数	28,254	24,683	2,976	595
		構成比	(100.0%)	(87.4%)	(10.5%)	(2.1%)

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」（平成28年、京田辺市）
：「第45回 枚方市統計書（平成27年版）」（平成28年、枚方市）

③ 第2次産業

調査地域の事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移を表 2-2.52に、産業中分類別事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移を表 2-2.53に示す。

事業所数をみると、京田辺市、枚方市ともに平成22年と平成26年を比較するとやや減少し、従業者数では、京田辺市で増加、枚方市で減少している。また、平成26年の製造品出荷額等は、京田辺市、枚方市とも平成22年と比較して増加している。

産業中分類別の事業所数、従業者数及び製造品出荷額等では、事業所数は、京田辺市が81事業所、枚方市が297事業所、従業者数は、京田辺市が3,979人、枚方市が17,070人となっている。

表 2-2.52 事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移

市	年次	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
京田辺市	平成 22 年	84	3,621	13,110,620
	平成 23 年	-	-	-
	平成 24 年	78	3,454	10,833,001
	平成 25 年	76	3,596	12,074,506
	平成 26 年	81	3,979	18,762,153
枚方市	平成 22 年	310	17,493	63,660,470
	平成 23 年	318	16,415	70,867,166
	平成 24 年	308	16,999	69,142,810
	平成 25 年	308	16,736	69,966,029
	平成 26 年	297	17,070	73,661,358

注1.各年12月31日現在。

注2.“-”は統計データがないことを示す。

出典：「京田辺市統計書 平成25・27年版」（平成26・28年、京田辺市）

：「第43・45回 枚方市統計書（平成26・27年版）」（平成26・28年、枚方市）

表 2-2.53 産業中分類別事業所数、従業者数及び製造品出荷額等の推移

産業中分類	京田辺市			枚方市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)
総数	81	3,979	18,177,170	297	17,070	73,661,358
食料品製造業	6	373	5,323,768	23	3,619	7,901,315
飲料・たばこ・飼料製造業	6	103	320,357	4	57	74,328
繊維工業	2	16	X	20	516	823,876
木材・木製品製造業	2	23	X	1	12	X
家具・装備品製造業	-	-	-	4	31	41,823
パルプ・紙加工品製造業	4	185	817,620	12	337	1,160,912
印刷・同関連業	5	890	3,099,072	9	192	270,395
化学工業	3	32	36,788	15	908	4,478,127
石油製品・石炭製品製造業	-	-	-	2	22	X
プラスチック製品製造業	7	100	110,971	23	1,030	3,150,836
ゴム製品製造業	1	4	X	5	273	433,969
なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	1	46	X
窯業・土石製品製造業	5	249	615,762	7	145	607,648
鉄鋼業	1	9	X	18	1,433	7,931,278
非鉄金属製造業	-	-	-	6	317	823,806
金属製品製造業	10	120	162,987	31	945	2,327,937
はん用機械器具製造業	3	916	6,245,463	23	722	1,892,345
生産用機械器具製造業	7	202	354,017	41	4,246	35,784,895
業務用機械器具製造業	7	233	260,320	4	226	234,269
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2	155	X	9	194	668,666
電気機械器具製造業	5	193	228,080	17	792	3,058,448
情報通信機械器具製造業	1	41	X	3	236	355,985
輸送用機械器具製造業	4	135	360,423	10	629	1,336,654
その他の製造業	-	-	-	9	142	174,977

注1. 平成26年12月31日現在。

注2. “-”は該当数字なし、“X”は該当数値の公表をさし控えたものを示す。

注3. 従業員4人以上の事業所の数値。

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」（平成28年、京田辺市）

：「第45回 枚方市統計書（平成27年版）」（平成28年、枚方市）

④ 第3次産業

調査地域の商店数、従業者及び年間商品販売額の推移を表2-2.54に示す。

商店数は、京田辺市、枚方市ともに減少しており、従業員数は、京田辺市は減少、枚方市は増加している。また、年間商品販売額は、両市とも減少している。

表 2-2.54 商店数、従業者及び年間商品販売額の推移

市	年次	商店数 (店)	従業員数 (人)	年間商品販売額 (万円)
京田辺市	平成16年	429	3,693	7,649,466
	平成19年	416	3,746	6,630,696
	平成26年	278	2,784	5,941,179
枚方市	平成16年	2,726	20,908	47,187,572
	平成19年	2,576	21,111	47,103,408
	平成26年	2,553	23,875	42,477,190

注. 各年6月1日現在、平成26年は7月1日現在。

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」（平成28年、京田辺市）

：「第45回 枚方市統計書（平成27年版）」（平成28年、枚方市）

(2) 行政区画の状況

調査地域の行政区画を図 2-2. 18に示す。事業実施想定区域は京田辺市内で、枚方市境界付近に位置している。

(3) 土地利用の状況

1) 現在の土地利用

調査地域の地目別土地面積を表 2-2. 55に示す。調査地域のうち、京田辺市は山林及び田が占める割合が多く、枚方市は宅地の占める割合が多い。

また、事業実施想定区域の現況土地利用は山林である。

表 2-2. 55 地目別土地面積

市								千㎡
	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	合計
京田辺市	7,483	2,728	6,457	7	8,535	251	2,287	27,747
枚方市	5,227	1,297	24,414	5	1,055	115	302	35,282

注 1. 京田辺市は平成 26 年 1 月 1 日現在、枚方市は平成 27 年 1 月 1 日現在。

注 2. 京田辺市：課税の対象にならない土地を除く。田には介在田等、畑には介在畑等、山林には介在山林、雑種地には鉱泉地、牧場を含む。

注 3. 枚方市：各市町村保管の固定資産課税台帳に登録されている土地である。

田は一般田、介在田、市街化区域田の計、畑は一般畑、介在畑、市街化区域畑の計、山林は一般山林、介在山林の計。

注 4. 端数処理を行っているため、各地目別面積の合計、総数と内訳は整合しない場合がある。

出典：「平成 26 年 京都府統計書」（平成 28 年、京都府）

：「平成 27 年度 大阪府統計年鑑」（平成 28 年、大阪府）

2) 将来の土地利用計画

調査地域の土地利用計画については、京田辺市都市計画マスタープラン（平成23年4月）によると、事業実施想定区域周辺は中部地域の都市型産業ゾーンに位置づけられており、環境にやさしく、かつ生産性の高い工場や流通施設が集積する産業ゾーンを目指すことが示されている。また、枚方市都市計画マスタープラン（平成23年3月）によると、調査地域は東部地域に位置付けられており、周辺の自然環境と調和した景観形成や幹線道路沿道の緑豊かな景観形成、スポーツ公園の整備推進により、生活環境の質の高いまちづくりを目指すことが示されている。

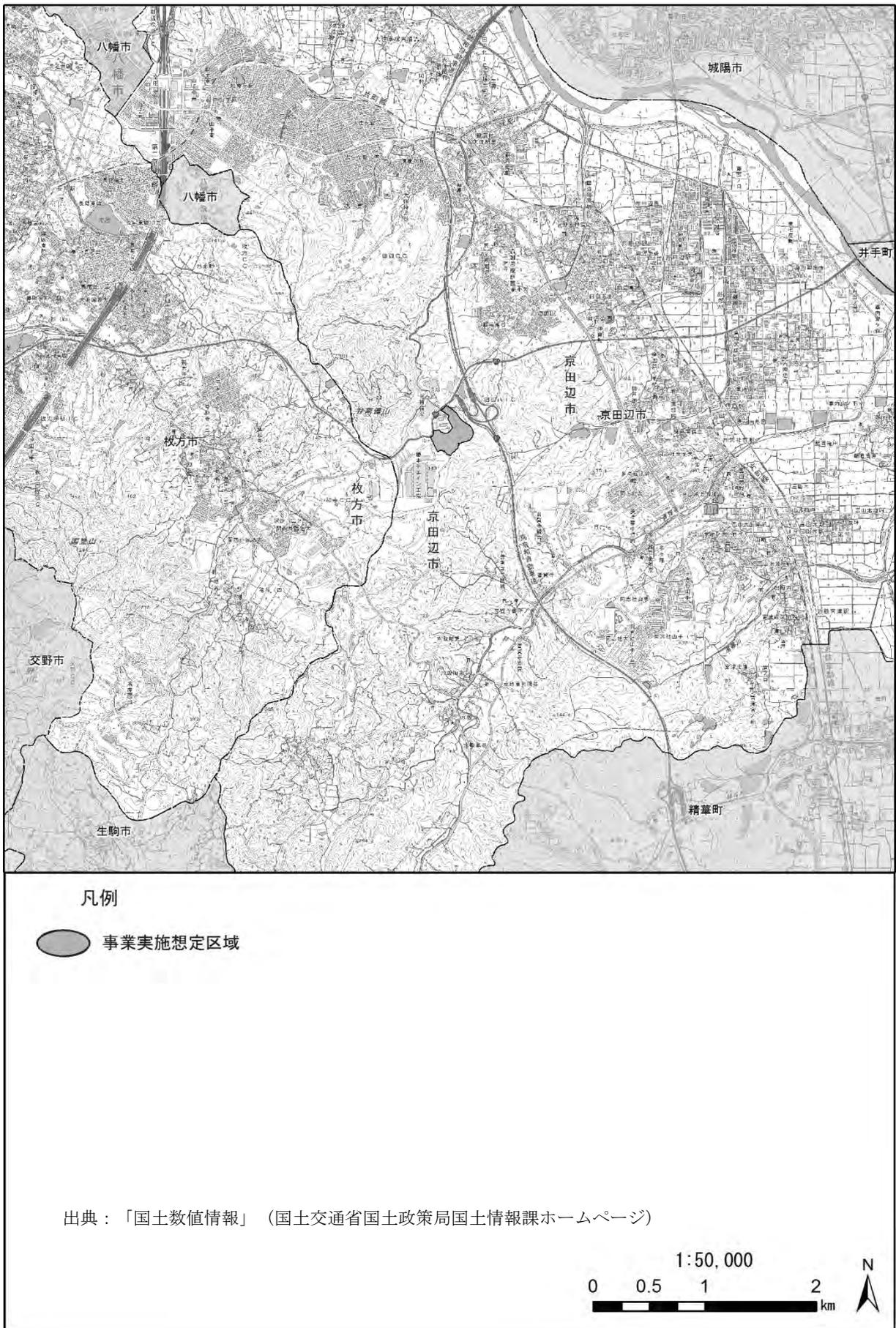


図 2-2.18 行政区画図

(4) 河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用状況

1) 水面利用、その他の水利用の状況

調査地域の主な河川は、調査地域東側を流れる木津川、その支川である普賢寺川や防賀川、淀川の支川である穂谷川などである。また、調査地域の京田辺市では、水道用水として一部、地下水を取水して利用している。京田辺市における地下水利用状況を表 2-2.56に、上水道取水井の位置を図 2-2.19に示す。

表 2-2.56 調査地域の地下水利用状況

番号	浄水場名	水源種別	水源名	計画取水量 (m ³ /日)
1	薪浄水場	伏流水	田辺取水井	480
2		浅井戸	浜新田	5,300
3			藪ノ本	4,560
4		深井戸	薪第1取水井	1,680
5			薪第2取水井	2,200
6	大住浄水場	深井戸	大住第1取水井	550
7			大住第2取水井	1,700
8			大住第3取水井	800
9	普賢寺浄水場	深井戸	普賢寺	280

注. 番号は図 2-2.19 に対応している。

出典：「京田辺市水道ビジョン～未来へうけつぐ故郷の水～」(平成 25 年 2 月、京田辺市上下水道部)

2) 漁業権の設定状況

調査地域の内水面漁業権概要を表 2-2.57に、漁業権位置を図 2-2.20に示す。調査地域の木津川水系は、木津川漁業協同組合が漁業権者であり、あゆ、こい、ふな、うなぎ、はえ、ます類が対象魚種になっている。

表 2-2.57 内水面漁業権概要

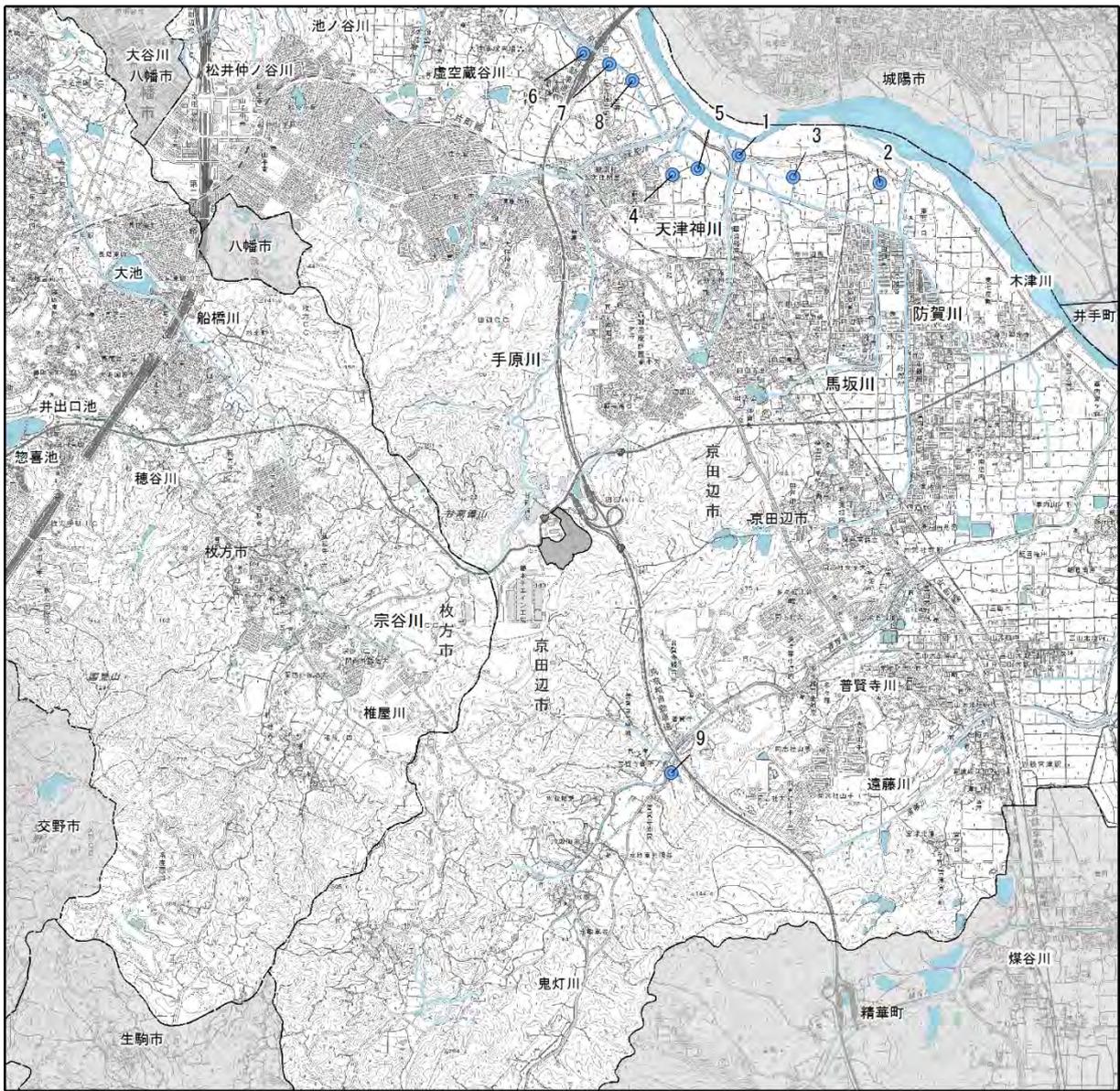
漁業権番号	京内共第 7 号
漁業権者の名称及び住所	木津川漁業共同組合 京都府木津川市上狛東下 16 番地の 8
漁業の区域	八幡市上津屋上津屋橋橋脚下流端から上流の木津川本流及びその支流
漁業の種類	第五種共同漁業
漁業権魚種	あゆ、こい、ふな、うなぎ、はえ、ます類
免許期間	平成 26 年 1 月 1 日から平成 35 年 12 月 31 日
遊漁の制限又は禁止事項	(1) 水産動植物の採捕の許可(京都府内水面漁業調整規則(昭和 40 年京都府規則第 33 号。以下、この表において「規則」という。)第 6 条)
	(2) 採捕の禁止期間(規則第 25 条)
	(3) 体長等の制限(規則第 26 条)
	(4) 漁具漁法の制限及び禁止(規則第 27 条及び第 31 条、水産資源保護法(昭和 26 年法律第 313 号)第 5 条及び第 6 条)
	(5) 網目の大きさについて(規則第 28 条)
	(6) 採捕の禁止区域(規則第 29 条)
	(7) 外来魚の移植制限(規則第 29 条の 2)

出典：京都府内水面漁業調整規則(昭和 40 年京都府規則第 33 号)

：水産資源保護法(昭和 26 年法律第 313 号)

：「遊漁のてびき～河川・湖沼～(ルールとマナーを守って楽しい遊漁)」(京都府ホームページ)

：平成 26 年京都府告示第 86 号



凡例

-  事業実施想定区域
-  取水井
-  河川・湖沼・池

出典：「京田辺市水道ビジョン～未来へうけつぐ故郷の水～」(平成 25 年 2 月、京田辺市上下水道部)

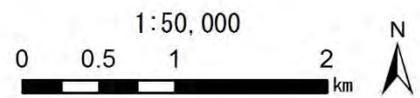


図 2-2.19 上水道取水井位置図

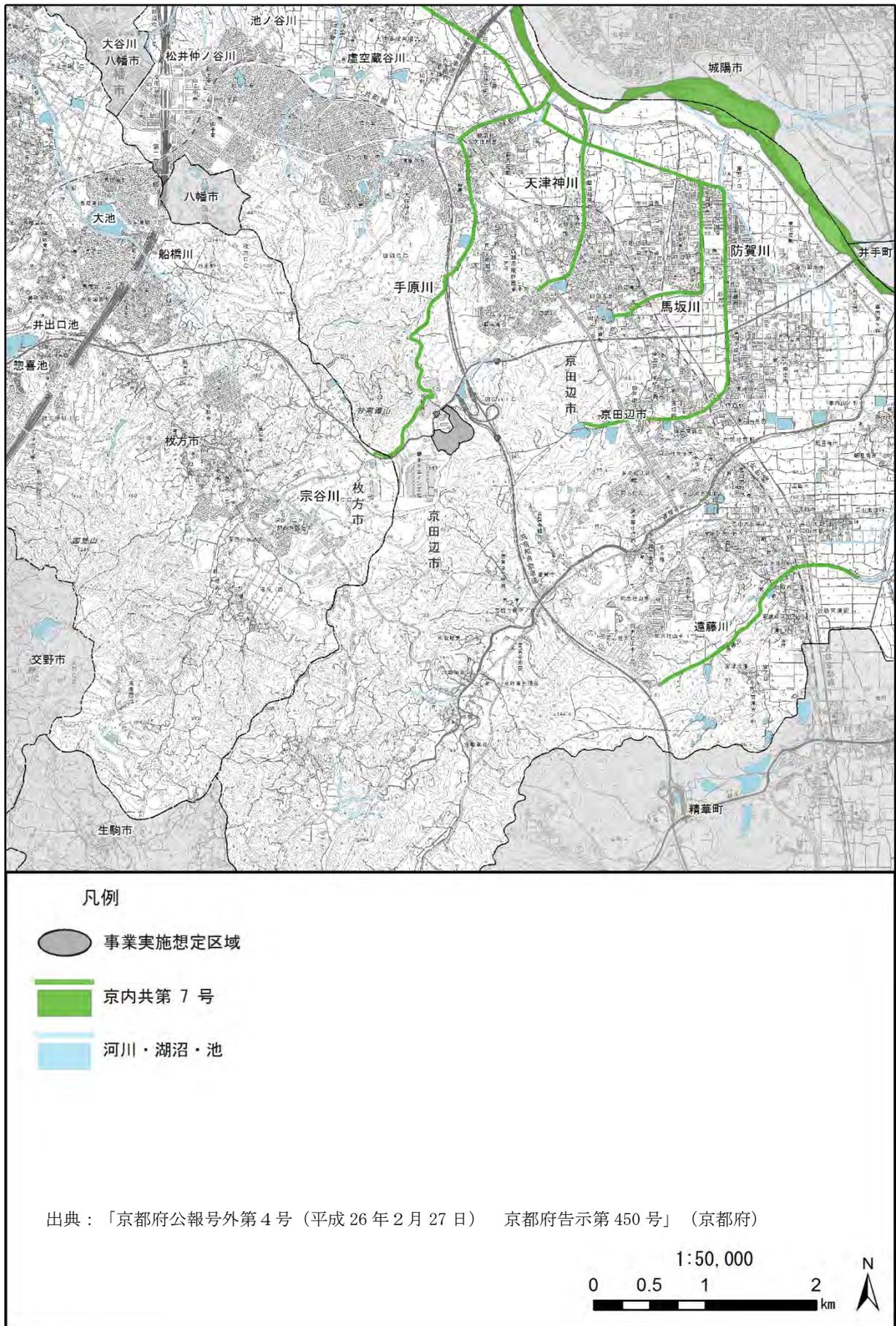


図 2-2.20 漁業権位置図

(5) 交通の状況

1) 道路

調査地域の自動車交通量調査結果を表 2-2.58に、主要な道路及び道路交通センサ位置を図 2-2.21に示す。

調査地域の交通網は、一般国道では、事業実施想定区域の北に一般国道307号が東西に延びるほか、事業実施想定区域の東には一般国道24号（京奈道路）が南北に延びている。このほか、調査地域の西側には一般国道1号（第二京阪道路）が南北に延びている。一般府道としては、八幡木津線や枚方山城線が南北に伸びるほか、生駒井手線が事業実施想定区域の南に延びている。さらに調査地域の北西部では交野久御山線や長尾八幡線や枚方高槻線等が集まっている。調査地域の自動車交通量をみると、平成22年度における一般国道の平日24時間の自動車交通量は、一般国道一号（第二京阪道路）の区間番号「10170」及び「10120」で36,901台、「10130」で33,715台と多くなっている。事業実施想定区域に最も近い区間は、「11420」で、平日24時間の自動車交通量は18,221台となっている。

表 2-2.58 調査地域の自動車交通量調査結果

道路 路線名	交通量 調査単 位区間 番号	観測地点名	年度	昼間 12 時間自動車類 交通量 (7 時～19 時) (台)			24 時間自動車類 交通量 (台)		
				小型	大型	合計	小型	大型	合計
一般国道 1 号 (第二京阪道路)	10170	京田辺松井 IC～枚方東 IC	H22	21,680	5,044	26,724	27,811	9,090	36,901
一般国道 1 号 (京都南道路)	10240	京田辺市松井口仲谷	H22	10,456	2,637	13,093	15,003	4,063	19,066
一般国道 24 号 (京奈道路)	10610	田辺北 IC～田辺西 IC	H22	11,988	2,151	14,139	15,216	2,775	17,991
一般国道 307 号	11410	京田辺市草内五反田	H22	11,141	2,937	14,078	14,605	3,978	18,583
	11420	京田辺市田辺丸山 214	H22	11,119	2,636	13,755	14,553	3,668	18,221
八幡木津線	40670	京田辺市薪堂ノ後	H22	7,393	740	8,133	9,613	960	10,573
	40680	京田辺市興戸東垣内 10-1	H22	10,806	702	11,508	13,947	1,013	14,960
	40690	京田辺市三山木南垣内 3	H22	13,238	786	14,024	17,592	971	18,563
	40730	京田辺市一休ヶ丘	H22	10,296	920	11,216	13,029	1,440	14,469
	40740	京田辺市興戸	H22	8,822	836	9,658	11,175	1,284	12,459
	40750	-	H22	-	-	-	-	-	-
生駒井手線	41590	京田辺市多々羅西平川原 5	H22	4,190	804	4,994	5,406	1,036	6,442
	41600	京田辺市三山木田中 28-1	H22	8,298	836	9,134	10,523	1,260	11,783
枚方山城線	41770	京田辺市水取錆	H22	1,874	581	2,455	2,483	684	3,167
富野荘八幡線	60400	-	H22	870	58	928	1,096	101	1,197
	60410	京田辺市大住東村 16-1	H22	4,101	152	4,253	5,137	349	5,486
一般国道 1 号 (第二京阪道路)	10120	京田辺松井 IC～枚方東 IC	H22	21,680	5,044	26,724	27,811	9,090	36,901
	10130	枚方東 IC～枚方学研 IC	H22	21,367	1,906	23,273	30,504	3,211	33,715
一般国道 1 号	10200	京田辺市山手西 3 丁目	H22	12,557	2,446	15,003	17,807	3,752	21,559
	10210	枚方市津田北町 3 丁目	H22	11,677	2,882	14,559	16,520	4,347	20,867
	10220	枚方市津田北町 3 丁目	H22	13,919	3,631	17,550	19,658	5,333	24,991
	10230	枚方市津田山手 2 丁目	H22	10,355	2,968	13,323	15,283	4,528	19,811
一般国道 307 号	11240	枚方市杉 2 丁目	H22	9,011	1,896	10,907	12,225	2,309	14,534
	11250	枚方市津田北町 3 丁目	H22	11,142	4,156	15,298	15,794	5,561	21,355
	11260	枚方市津田北町 3 丁目	H22	8,938	2,691	11,629	12,952	3,737	16,689
枚方山城線	42050	枚方市宗谷 2 丁目	H22	3,474	1,003	4,477	4,553	1,194	5,747
長尾八幡線 (旧)	61690	-	H22	4,545	679	5,224	6,380	934	7,314

注 1. 番号は、図 2-2.21 に対応している。

注 2. “-” は交通量を観測していないことを示す。

注 3. “斜体表示” は推定した交通量を示す。

出典：「平成 22 年度 道路交通センサ調査結果 (京都府)」 (近畿地方整備局道路部ホームページ)

：「平成 22 年度 道路交通センサ調査結果 (大阪府)」 (近畿地方整備局道路部ホームページ)

また、調査地域の自動車保有数を表 2-2. 59に示す。調査地域の自動車保有台数総数をみると、平成26年度末現在、京田辺市35, 156台、枚方市161, 870台で、両市とも乗用車及び軽自動車の保有台数が多い。

表 2-2. 59 調査地域の自動車保有数

区 分		京田辺市	枚方市
自動車保有台数総数 (台)		35, 156	161, 870
登録自動車保有台数 (台)		自家用	20, 917
		事業用	899
貨物用 (台)	普通車	自家用	513
		事業用	338
	小型車	自家用	1, 012
		事業用	16
	被けん引車	自家用	4
		事業用	41
乗合用 (台)	普通車	自家用	1
		事業用	80
	小型車	自家用	40
		事業用	23
乗用 (台)	普通車	自家用	9, 023
		事業用	64
	小型車	自家用	9, 910
		事業用	115
特殊用途用 (台)	普通車・小型車	自家用	369
		事業用	222
	大型特殊車	自家用	45
		事業用	-
小型二輪車 (台)		782	4, 380
軽自動車 (台)		12, 558	46, 626

注 1. 平成 26 年度末現在の数値。

注 2. 登録自動車総数には小型二輪車、軽自動車を含まない。

注 3. 市町村別台数には不明分があり、その台数を除いているため、総数とは一致しない。

注 4. 軽自動車の市区町村別台数は軽四輪のみである。

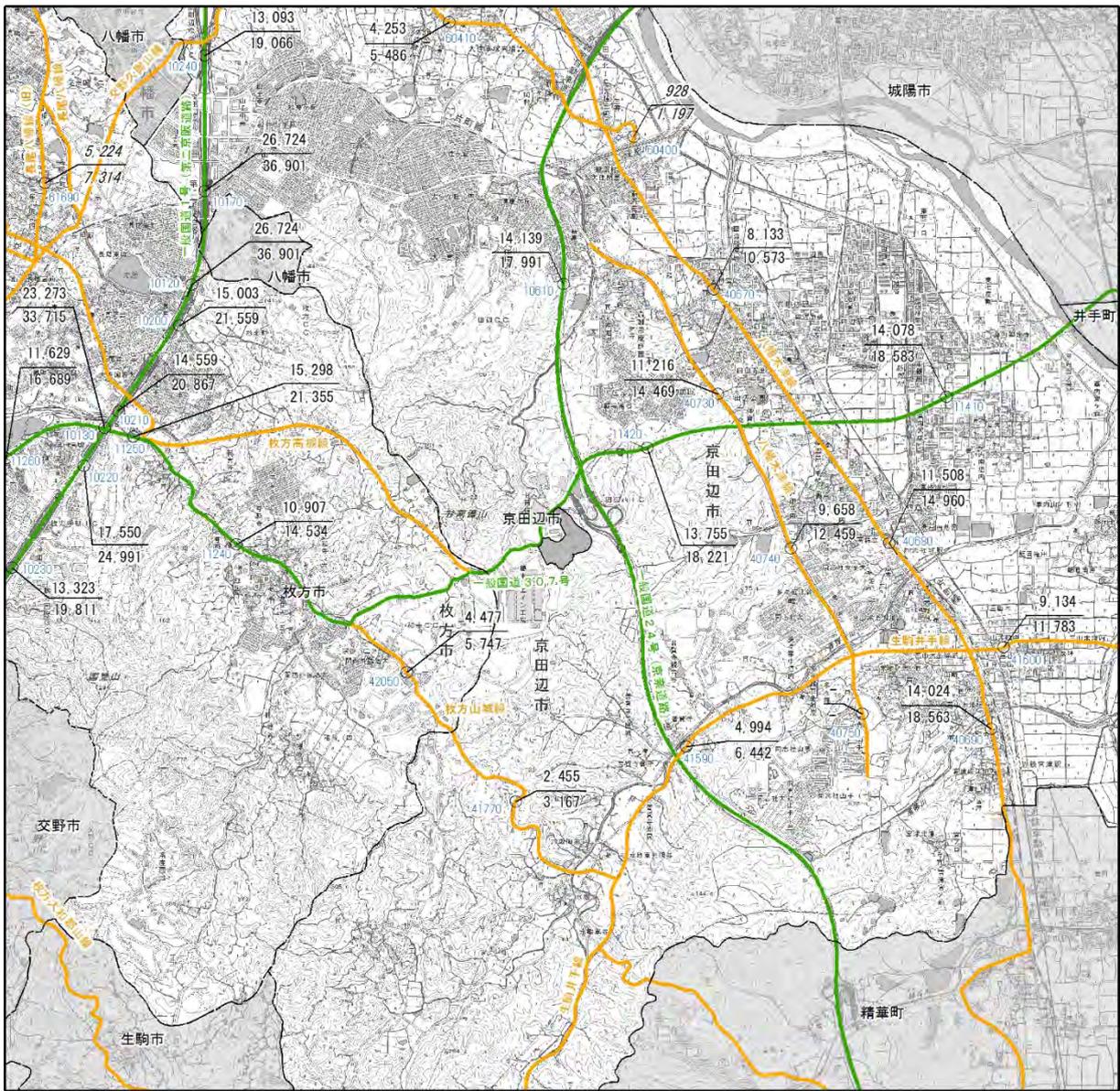
注 5. 京田辺市の“-”は、該当なし。

注 6. 枚方市の“-”は、以下の理由による。

- ・ 出典資料で貨物用はトラックと記載し、普通車、小型車には被けん引車を含むため。
- ・ 出典資料で乗合用はバスと記載し、普通車・小型車を区分していないため。

出典：「平成 26 年 京都府統計書」(平成 28 年、京都府)

：「平成 27 年度 大阪府統計年鑑」(平成 28 年、大阪府)



凡例

-  事業実施想定区域
-  一般国道
-  一般府道
-  交通量調査地点

注 1. 図中の青字は交通量調査単位区間番号を示す。
 注 2. 引き出し線の上段は昼間 12 時間自動車類交通量 (台)、下段は 24 時間自動車類交通量 (台) を示す。
 注 3. “斜体表示”は推定した交通量を示す。
 注 4. 道路・路線名は交通量調査時 (平成 22 年度) のものを表示している。
 出典: 「平成 22 年度 道路交通センサス交通量図 (大阪府)」 (近畿地方整備局道路部ホームページ)
 : 「平成 22 年度 道路交通センサス交通量図 (京都府)」 (近畿地方整備局道路部ホームページ)
 : 「一般国道・主要地方道 交通量センサス図 (平成 17 年度)」 (京都府ホームページ)

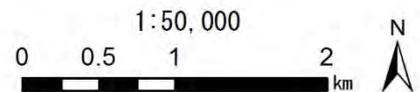


図 2-2.21 主要な道路及び道路交通センサス位置図

2) 鉄道

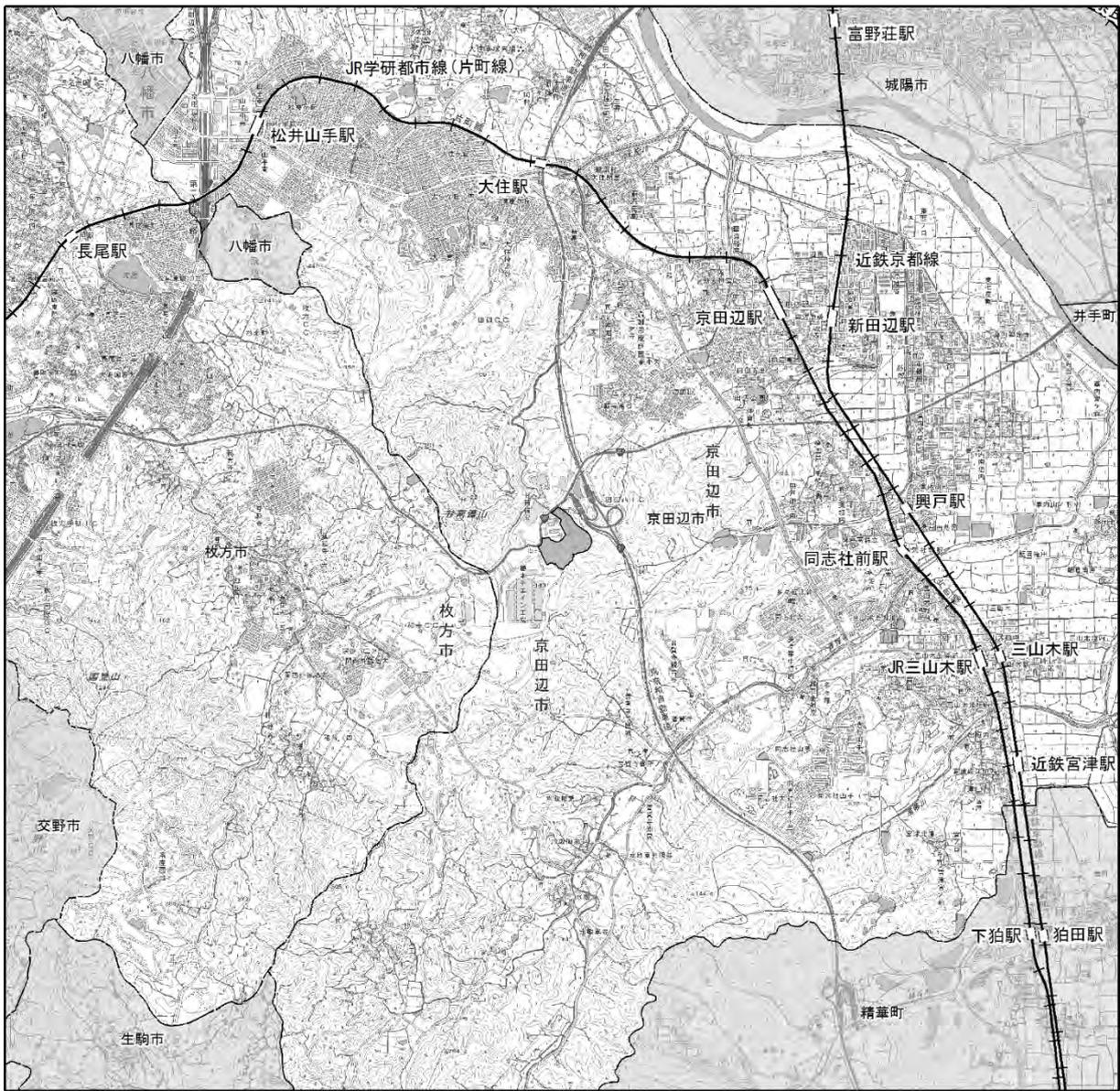
調査地域の鉄道網の状況は図 2-2.22に、調査地域に位置する駅について、1日平均乗車人員数を表 2-2.60に示す。調査地域を通過する鉄道は、JR学研都市線（片町線）及び近鉄京都線がある。鉄道駅は枚方市内に長尾駅、京田辺市内に松井山手駅、大住駅、同志社前駅、新田辺駅、近鉄宮津駅など10駅がある。事業実施想定区域の最寄り駅はJR学研都市線（片町線）の京田辺駅である。

表 2-2.60 1日平均乗車人員数

鉄道	駅名	1日平均乗車人数		
		平成24年	平成25年	平成26年
JR学研都市線 (片町線)	松井山手駅	12,882	13,264	13,784
	大住駅	3,136	3,184	3,184
	京田辺駅	12,086	12,132	11,930
	同志社前駅	11,284	8,844	8,734
	JR三山木駅	1,586	1,614	1,676
	長尾駅	12,421	12,509	11,920
近鉄京都線	新田辺駅	27,093	26,995	26,104
	興戸駅	11,907	9,506	9,120
	三山木駅	6,580	5,480	5,529
	近鉄宮津駅	413	413	407

出典：「京田辺市統計書 平成27年版」（平成28年、京田辺市）

：「第45回 枚方市統計書（平成27年版）」（平成28年、枚方市）



凡例

● 事業実施想定区域

++++ 鉄道路線

— 駅

出典：「国土数値情報」（国土交通省国土政策局国土情報課ホームページ）

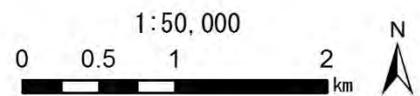


図 2-2.22 鉄道網図

(6) 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設の配置の状況及び住宅の配置の概況

調査地域の環境保全について配慮が特に必要な施設として、保育所（園）、幼稚園、学校等、病院、社会福祉施設、文化施設などがあげられる。調査地域に分布する環境保全について配慮が特に必要な施設の配置状況は表 2-2.61に示す。

表 2-2.61 環境保全についての配慮が特に必要な施設の配置状況

市	保育所	幼稚園	学校	病院	社会福祉施設	文化施設
京田辺市	9	10	18	3	7	4
枚方市	2	2	7	2	1	3

注. 幼稚園には、認定こども園を含む。

1) 学校等

調査地域の学校数を表 2-2.62に、調査地域の環境保全についての配慮が必要な施設(学校等)を表 2-2.63(1)～(2)に、調査地域の学校等位置図を図 2-2.23に示す。

事業実施想定区域の南西側に関西外国語大学、氷室保育園、枚方市立氷室小学校、東側には同志社大学などがある。

表 2-2.62 京田辺市、枚方市の学校数

市	項目	学校数 (校)	教員数 (人)	児童・生徒数(人)		
				総数	男	女
京田辺市	幼稚園	10	75	945	489	456
	小学校	9	242	4,353	2,167	2,186
	中学校	4	128	2,108	1,022	1,086
	高等学校	2	106	1,674	918	756
枚方市	幼稚園	22	281	4,579	2,266	2,313
	小学校	46	1,324	22,710	11,645	11,065
	中学校	21	745	11,515	6,053	5,462
	高等学校	8	452	8,136	4,091	4,045

注. 京田辺市は平成 26 年 5 月 1 日現在、枚方市は平成 27 年 5 月 1 日現在。

出典：「平成 26 年 京都府統計書」（平成 28 年、京都府）

：「平成 27 年度 大阪府統計年鑑」（平成 28 年、大阪府）

表 2-2.63(1) 環境保全についての配慮が必要な施設（学校等）

番号	分類	市	名称
1	保育所（園）	京田辺市	京田辺市立河原保育所
2			京田辺市立河原保育所分園
3			京田辺市立三山木保育所
4			京田辺市立草内保育所
5			京田辺市立南山保育所
6			社会福祉法人松井ヶ丘福祉会 パステルキッズ
7			社会福祉法人みみづく福祉会 みみづく保育園
8			社会福祉法人松井ヶ丘福祉会 松井ヶ丘保育園
9			社会福祉法人大住福祉会 大住保育園
10		枚方市	枚方市立菅原保育所
11		社会福祉法人氷室保育園	

表 2-2. 63(2) 環境保全についての配慮が必要な施設（学校等）

番号	分類	市	名称	
12	幼稚園	京田辺市	京田辺市立三山木幼稚園	
13			京田辺市立松井ヶ丘幼稚園	
14			京田辺市立薪幼稚園	
15			京田辺市立草内幼稚園	
16			京田辺市立大住幼稚園	
17			京田辺市立田辺東幼稚園	
18			京田辺市立田辺幼稚園	
19			京田辺市立普賢寺幼稚園	
20			学校法人雑創の森学園 そよかぜ幼稚園	
21			学校法人都南カトリック学園 聖愛幼稚園	
22			枚方市	学校法人長尾学園 長尾幼稚園
23	認定こども園	枚方市	学校法人鴻池学園 認定こども園（幼稚園型） 鴻池学園第三幼稚園	
24	小学校	京田辺市	京田辺市立三山木小学校	
25			京田辺市立松井ヶ丘小学校	
26			京田辺市立薪小学校	
27			京田辺市立草内小学校	
28			京田辺市立大住小学校	
29			京田辺市立田辺小学校	
30			京田辺市立田辺東小学校	
31			京田辺市立桃園小学校	
32			京田辺市立普賢寺小学校	
33			枚方市	枚方市立菅原小学校
34				枚方市立菅原東小学校
35		枚方市立長尾小学校		
36		枚方市立氷室小学校		
37		中学校	京田辺市	京田辺市立大住中学校
38	京田辺市立田辺中学校			
39	京田辺市立培良中学校			
40	学校法人同志社 同志社国際中学校			
41	枚方市		枚方市立杉中学校	
42			枚方市立長尾中学校	
43	高等学校	京田辺市	京都府立田辺高等学校	
44			学校法人同志社 同志社国際高等学校	
45	各種学校	京田辺市	京都インターナショナルユニバーシティー	
46	大学	京田辺市	学校法人同志社 同志社女子大学京田辺キャンパス	
47			学校法人同志社 同志社大学京田辺キャンパス	
48		枚方市	学校法人関西外国語学園 関西外国語大学学研都市キャンパス	

注. 番号は、図 2-2. 23 に対応している。

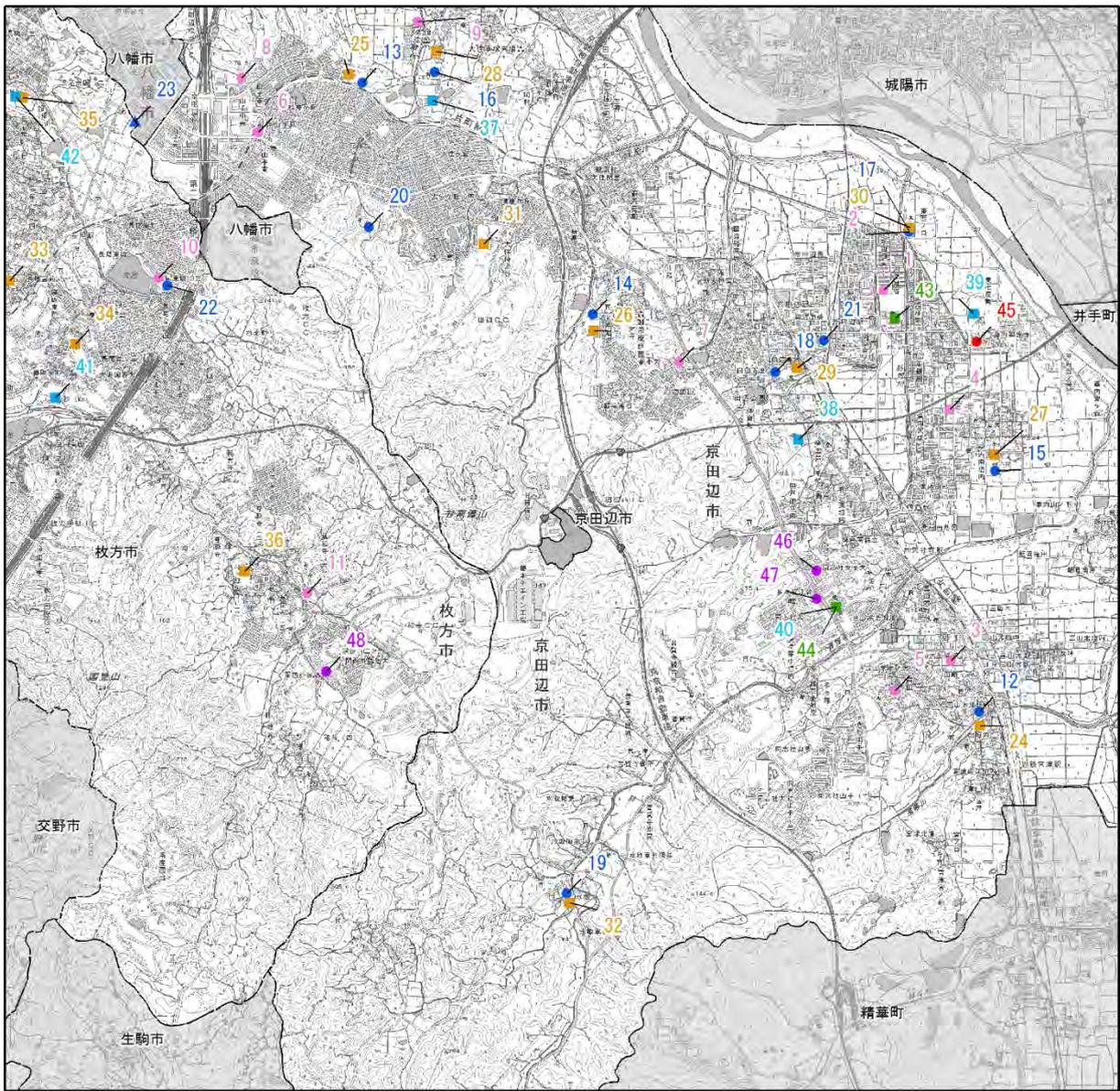
出典：「京都府私立学校法人、各種学校、私立専修学校、私立高等学校、私立中学校、私立幼稚園一覧」（京都府ホームページ）

：「京田辺市の学校一覧」（京田辺市教育委員会ホームページ）

：「保育所一覧」（京田辺市ホームページ）

：「市立小中学校、私立小・中学校、幼稚園、保育所等一覧」（京田辺市教育委員会ホームページ）

：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）



凡例

-  事業実施想定区域
-  保育所（園）
-  幼稚園
-  認定こども園
-  小学校
-  中学校
-  高等学校
-  大学
-  各種学校

出典：表 2-2.62 に示す。

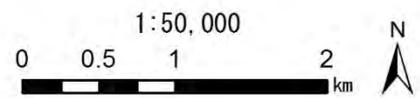


図 2-2.23 学校等位置図

2) 病院、保健医療施設、福祉施設、文化施設

調査地域の病院、診療所数を表 2-2. 64に示す。

調査地域の環境保全についての配慮が必要な施設について、病院を表 2-2. 65に、福祉施設を表 2-2. 66に、文化施設を表 2-2. 67に示す。また、調査地域の病院、福祉施設、文化施設等位置図を図 2-2. 24に示す。事業実施想定区域の北東側に田辺中央病院や京田辺市立中央図書館、東側に特別養護老人ホーム（つつきの郷）がある。

表 2-2. 64 調査地域の病院、診療所数

市	病院		一般診療所		歯科 診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	
京田辺市	3	599	50	29	27
枚方市	23	5,093	273	175	209

注. 京田辺市は平成 26 年 10 月 1 日現在、枚方市は平成 27 年 10 月 1 日現在。

出典：「平成 26 年 京都府統計書」（平成 28 年、京都府）

：「平成 27 年度 大阪府統計年鑑」（平成 28 年、大阪府）

表 2-2. 65 環境保全についての配慮が必要な施設（病院）

番号	市	名称	所在地
1	京田辺市	医療法人芳松会 田辺病院	京田辺市飯岡南原 55
2		医療法人社団石鎚会 田辺中央病院	京田辺市田辺中央六丁目 1 の 6
3		医療法人社団石鎚会 田辺記念病院	京田辺市田辺戸絶 1 番地
4	枚方市	医療法人中屋覚志会 津田病院	枚方市津田北町 3-30-1
5		国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院	枚方市藤阪東町 1 丁目 2 番 1 号

注. 番号は、図 2-2. 24 に対応している。

出典：「京都府病院一覧」（京都府ホームページ）

「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

表 2-2. 66 環境保全についての配慮が必要な施設（福祉施設）

番号	市	種類	名称	所在地
1	京田辺市	特別養護 老人ホーム	九十九園	京田辺市大住池平 99-1
2			つつきの郷	京田辺市三山木西ノ河原 43-2
3			やすらぎの杜	京田辺市同志社山手 2 丁目 1 番 2
4			セピアの園	京田辺市飯岡南原 41 番地
5	京田辺市	養護老人ホーム	京都府立洛南寮	京田辺市大住仲ノ谷 14-1
6		有料老人ホーム	サンライフ三友	京田辺市薪山垣外 86 番地の 1
7	京田辺市	こども（児童） 発達支援センター	京都府立こども発達 支援センター	京田辺市田辺茂ヶ谷 186-1
8	枚方市	ー	枚方市立すぎの木園	枚方市津田東町 2 丁目 35-2

注. 番号は、図 2-2. 24 に対応している。

出典：「高齢者福祉施設」（京都府ホームページ）

：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

：「こども発達支援センター」（京都府社会福祉事業団ホームページ）

表 2-2.67 環境保全についての配慮が必要な施設（文化施設）

番号	市	名称	所在地
1	京田辺市	京田辺市立中央図書館	京田辺市田辺辻 40 番地
2		京田辺市立中央図書館北部分室	京田辺市大住内山 1 番地の 1 (北部住民センター内)
3		京田辺市立中央図書館中部分室	京田辺市草内美泥 22 番地の 2 (中部住民センター内)
4	枚方市	枚方市立菅原図書館	枚方市長尾元町 1 丁目 35-1
5		枚方市立図書館氷室分室	枚方市尊延寺 3 丁目 1-47
6	京田辺市	京田辺市立中央公民館	京田辺市田辺丸山 214
7	枚方市	枚方市立菅原生涯学習市民センター	枚方市長尾元町 1 丁目 35-1

注. 番号は、図 2-2.24 に対応している。

出典：「京都市立図書館」（京都市立図書館ホームページ）
 ：「社会教育・スポーツ推進課」（京田辺市ホームページ）
 ：「きてみて枚方マップ」（枚方市ホームページ）

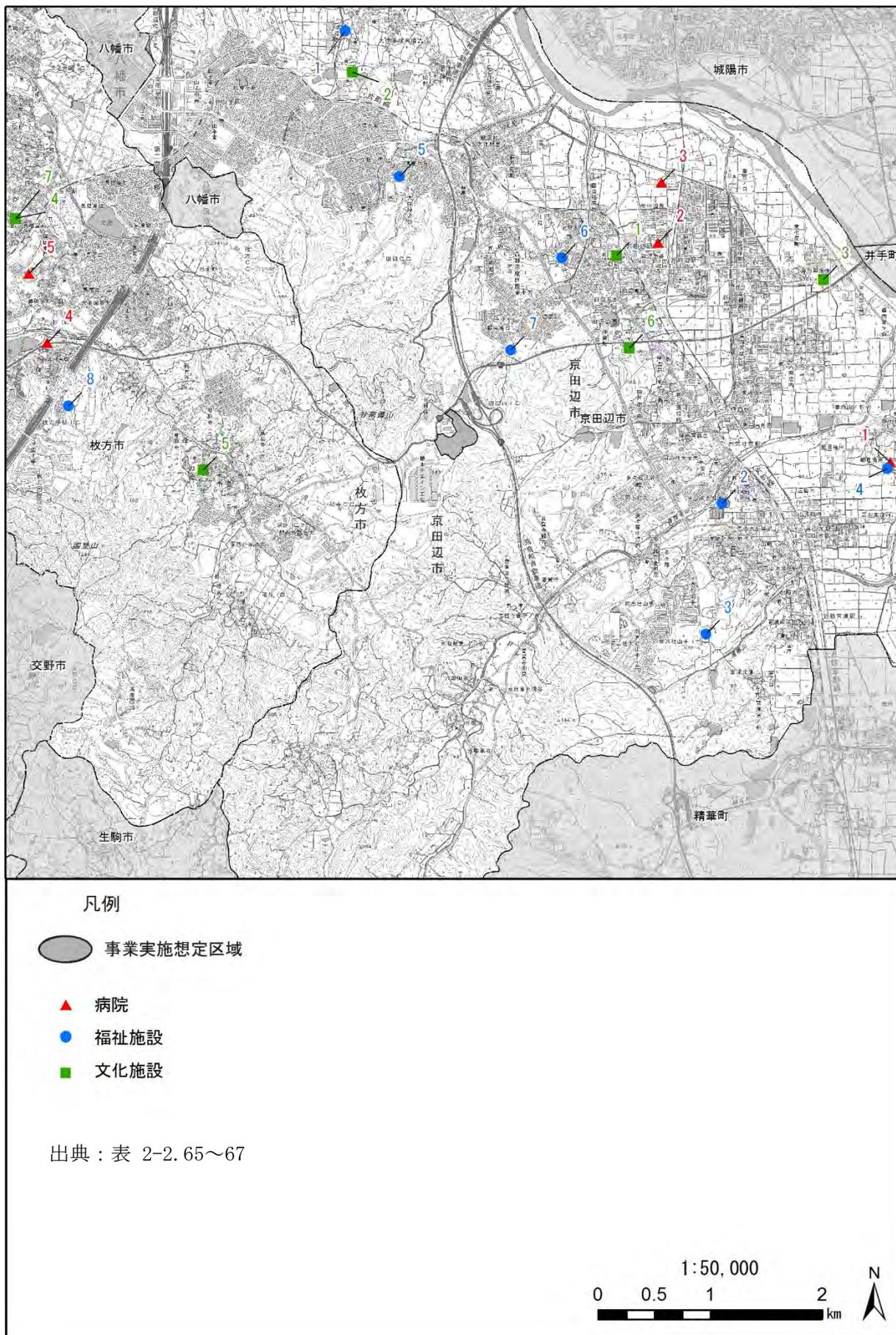


図 2-2.24 病院、福祉施設、文化施設等位置図

3) 住宅

調査地域には、枚方市の尊延寺や氷室台、杉山手、京田辺市の薪長尾谷、田辺などに住宅地が分布している。事業実施想定区域に隣接した住宅地はない。

(7) 日照の状況

1) 地形及び既存建築物の状況

事業実施想定区域の周囲は、丘陵地に位置しており、周辺にはパッチ状に工場が立地している。北側は国道307号、東側は京奈和自動車道と接している。周囲に高層建築物は立地していない。

2) 土地利用の状況

事業実施想定区域の周囲は、丘陵地が大半を占めるが、一部工場地や道路となっている。

(8) 電波の状況

1) テレビ電波の送信状況

調査地域のテレビ電波送信状況概要を表 2-2. 68に、テレビ電波の状況を図 2-2. 25に示す。調査地域は大阪局と京都局によりテレビ電波が広範囲に送信されており、田辺大住や枚方尊延寺などに中継局が設置されている。

表 2-2. 68 テレビ電波送信状況概要

番号	送信局	放送局名	リモコン チャンネル	受信 チャンネル	送信場所	送信出力 (W)
-	大阪局 (中継局含む)	NHK 総合	1	24	生駒山	3,000
		NHK 教育	2	13		
		テレビ大阪	7	18		
		毎日放送	4	16		
		朝日放送	6	15		
		関西テレビ放送	8	17		
		読賣テレビ放送	10	14		
-	京都局 (中継局含む)	NHK 総合	1	25	比叡山	20
		京都放送	5	23		
		NHK 教育	2	40		
		毎日放送	4	33		
		朝日放送	6	38		
		関西テレビ放送	8	42		
		読賣テレビ放送	10	35		
1	山城田辺中継局	NHK 教育	1	45	天王の山	1
		京都放送	5	43		
2	枚方尊延寺中継局	NHK 総合・教育、広域民放4社、テレビ大阪	-	-	枚方尊延寺	0.01
3	田辺大住中継局	NHK 総合・教育、広域民放4社、京都放送	-	-	田辺大住	0.01

注 1. 広域民放4社とは、「毎日放送」、「朝日放送」、「関西テレビ放送」、「読賣テレビ放送」の民間放送局を指す。

注 2. 番号は図 2-2. 25 に対応している。

出典：「近畿総合通信局 近畿地区の地上デジタルテレビ放送局」（総務省ホームページ）

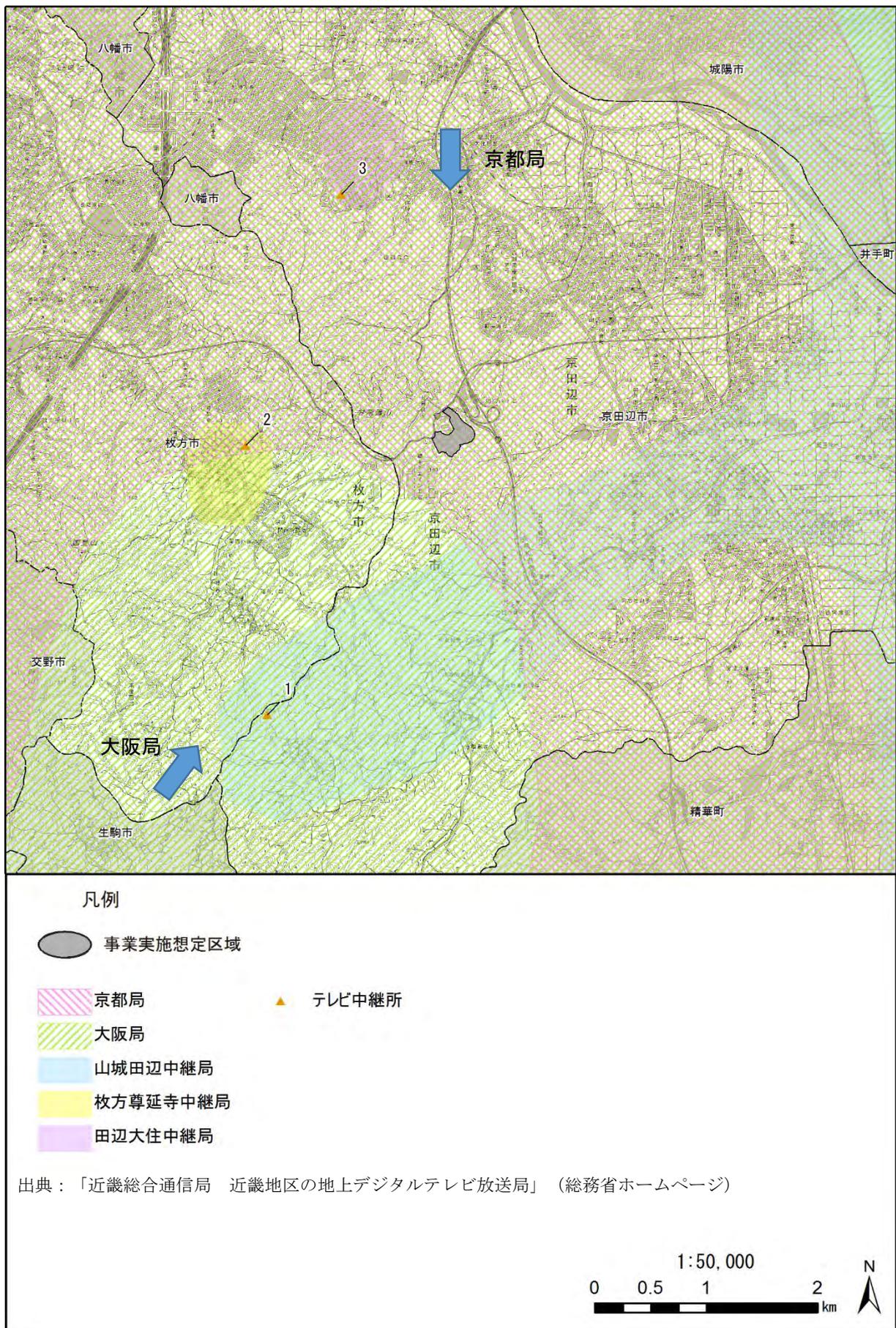


図 2-2.25 テレビ電波の状況図

(9) 廃棄物等の状況

1) 一般廃棄物

調査地域における一般廃棄物排出量の推移を表 2-2.69に示す。

平成26年度のごみ総排出量は、京田辺市20,772 t、枚方市127,531 tで、いずれも平成24年度と比較して減少している。平成26年度の資源化量は京田辺市908 t、枚方市9,251 tで、リサイクル率は京田辺市15.24%、枚方市21.88%となっている。直接焼却量は、京田辺市15,497 t、枚方市93,737 tとなっている。

表 2-2.69 一般廃棄物排出量の推移

区 分	京田辺市			枚方市		
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
ごみ総排出量 (t)	20,924	20,821	20,772	128,331	127,629	127,531
生活系ごみ搬入量 (t)	14,001	13,893	13,846	77,022	76,542	75,417
事業系ごみ搬入量 (t)	4,610	4,664	4,676	31,512	31,962	33,464
集団回収量 (t)	2,313	2,264	2,250	19,797	19,125	18,650
資源化量 (t)	1,065	1,065	908	8,625	8,685	9,251
リサイクル率 (%)	16.15	15.98	15.24	22.12	21.79	21.88
直接焼却量 (t)	15,523	15,369	15,497	92,533	92,522	93,737

出典：「一般廃棄物処理実態調査結果」（平成 26～28 年、環境省）

2) 産業廃棄物

調査地域の位置する京都府、大阪府における産業廃棄物の業種別発生量を表 2-2.70に示す。

平成25年度に排出された産業廃棄物は、京都府4,741,540 t、大阪府11,743,100 tとなっている。

業種別にみると、京都府、大阪府ともに「電気・ガス・熱供給・水道業」（京都府2,794,523 t、大阪府6,440,710 t）が最も多く、次いで「建設業」（京都府936,014 t、大阪府2,803,239 t）となっている。

表 2-2.70 産業廃棄物の業種別発生量

業 種	京都府 (t/年)		大阪府 (t/年)	
	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
農業、林業	286,653	271,283	53,721	52,840
漁業	18	15	5	25
鉱業	2,773	4,023	15,311	20,968
建設業	868,181	936,014	2,774,540	2,803,239
製造業	604,022	592,924	2,293,190	2,234,456
電気・ガス・熱供給・水道業	3,143,223	2,794,523	6,354,890	6,440,710
情報通信業	3,707	4,867	4,159	4,410
運輸業、郵便業	9,034	6,937	27,269	23,581
卸売・小売業	83,098	95,331	36,493	30,299
不動産業、物品賃借業	1,796	2,091	1,486	4,959
学術研究、専門・技術サービス業	378	1,248	580	5,373
飲食店、宿泊業	10,565	11,261	32,395	35,232
生活関連サービス業、娯楽業	2,850	2,943	24,307	19,999
教育、学習支援業	975	4,244	2,159	4,716
医療、福祉	9,727	8,897	23,362	41,053
複合サービス事業	103	952	191	1,870
サービス業	480	3,785	4,397	12,727
公務	171	200	2,303	6,644
合計	5,027,756	4,741,540	11,650,757	11,743,100

出典：「産業廃棄物排出・処理状況調査報告書 平成 24・25 年度実績（概要版）」（平成 27・28 年、環境省）

(10) 上水道及び下水道の整備の状況

1) 上水道の給水状況

調査地域における上水道の給水状況を表 2-2.71に示す。

給水普及率は、京田辺市93.92%、枚方市99.97%となっている。また、1日最大給水量は、京田辺市23,726m³/日、枚方市141,400m³/日となっている。

表 2-2.71 上水道の給水状況

市	計画給水人口 (人)	給水人口 (人)	給水普及率 (%)	1日平均給水量 (m ³ /日)	1日最大給水量 (m ³ /日)
京田辺市	70,000	65,747	93.92	20,636	23,726
枚方市	402,984	402,876	99.97	127,899	141,400

注. 京田辺市は平成 25 年度末、枚方市は平成 26 年度末の数値。

出典：「平成 26 年 京都府統計書」(平成 28 年、京都府)

：「大阪府の水道の現況-平成 26 年度大阪府の水道の現況」(大阪府ホームページ)

2) 下水道の整備状況

調査地域における下水道普及状況を表 2-2.72に示す。

下水道の行政人口比の普及率は、京田辺市98.1%、枚方市94.5%となっている。また、計画面積比の普及率は、京田辺市84.9%、枚方市63.4%となっている。

表 2-2.72 下水道普及状況

市	計画面積 (ha)	処理面積 (ha)	処理人口 (人)	行政人口 (人)	普及率 (%)	
					計画面積比	行政人口比
京田辺市	1,372	1,165	65,532	66,824	84.9	98.1
枚方市	5,227	3,315	384,063	406,228	63.4	94.5

注. 平成 26 年度末現在。

出典：「京田辺市統計書 平成 27 年版」(平成 28 年、京田辺市)

：「第 45 回枚方市統計書 (平成 27 年版)」(平成 28 年、枚方市)

(11) 都市計画法に基づく地域地区等の決定状況及びその他の土地利用計画

1) 用途地域の指定状況

調査地域の都市計画区域面積を表 2-2.73に、調査地域の都市計画図（用途地域）を図 2-2.26に示す。事業実施想定区域の一部は工業専用地域に指定されているが、大半は用途地域の指定がない。

表 2-2.73 調査地域の都市計画区域面積

地域区分		市	
		京田辺市	枚方市
都市計画区域		4,294	6,508
市街化区域		1,074	4,182
市街化調整区域		3,220	2,326
用途地域 (ha)	総数	1,074.3	4,182.2
	第1種低層住居専用地域	256.7	908.9
	第2種低層住居専用地域	14.6	91.2
	第1種中高層住居専用地域	234.8	1340.7
	第2種中高層住居専用地域	18.1	563.5
	第1種住居地域	286.1	259.3
	第2種住居地域	76.7	201.4
	準住居地域	-	26.7
	近隣商業地域	21.4	98.9
	商業地域	28.7	33.1
	準工業地域	6	334.4
	工業地域	34.2	94.1
	工業専用地域	97	230

注1. 平成26年3月31日現在。

注2. 端数処理を行っているため、各用途地域の合計は整合しない場合がある。

注3. 市街化調整区域の面積は、行政区域面積から市街化区域面積を引くなどして算出している。

注4. “-”は地域区分がないことを示す。

出典：「平成26年 京都府統計書」（平成28年、京都府）

：「平成27年度 大阪府統計年鑑」（平成28年、大阪府）

2) 土地利用計画の状況

調査地域の土地利用基本計画を図 2-2.27に示す。調査地域には森林地域、農業地域及び市街化調整区域が位置している。事業実施想定区域には森林地域及び市街化調整区域が位置している。

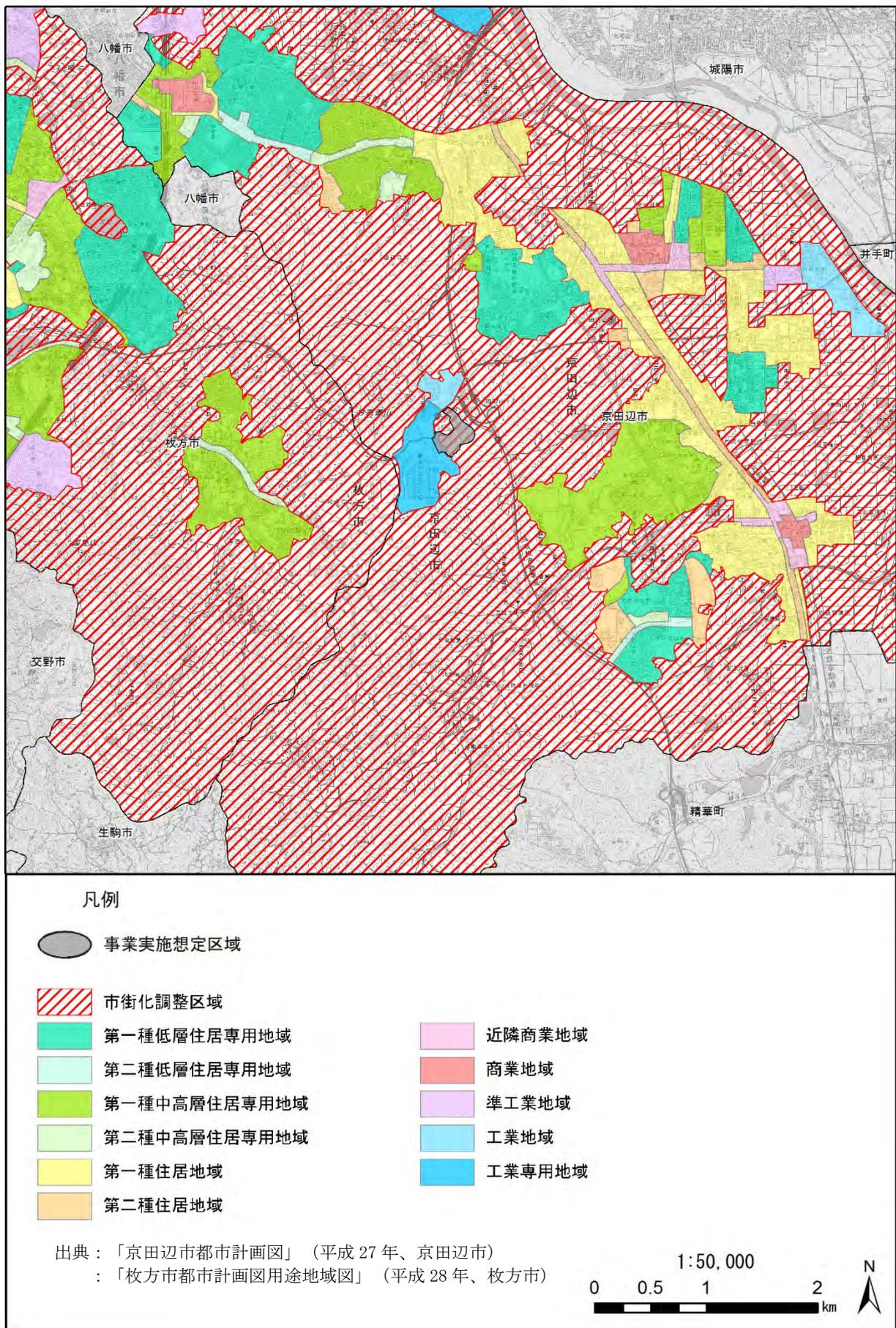


図 2-2.26 用途地域図

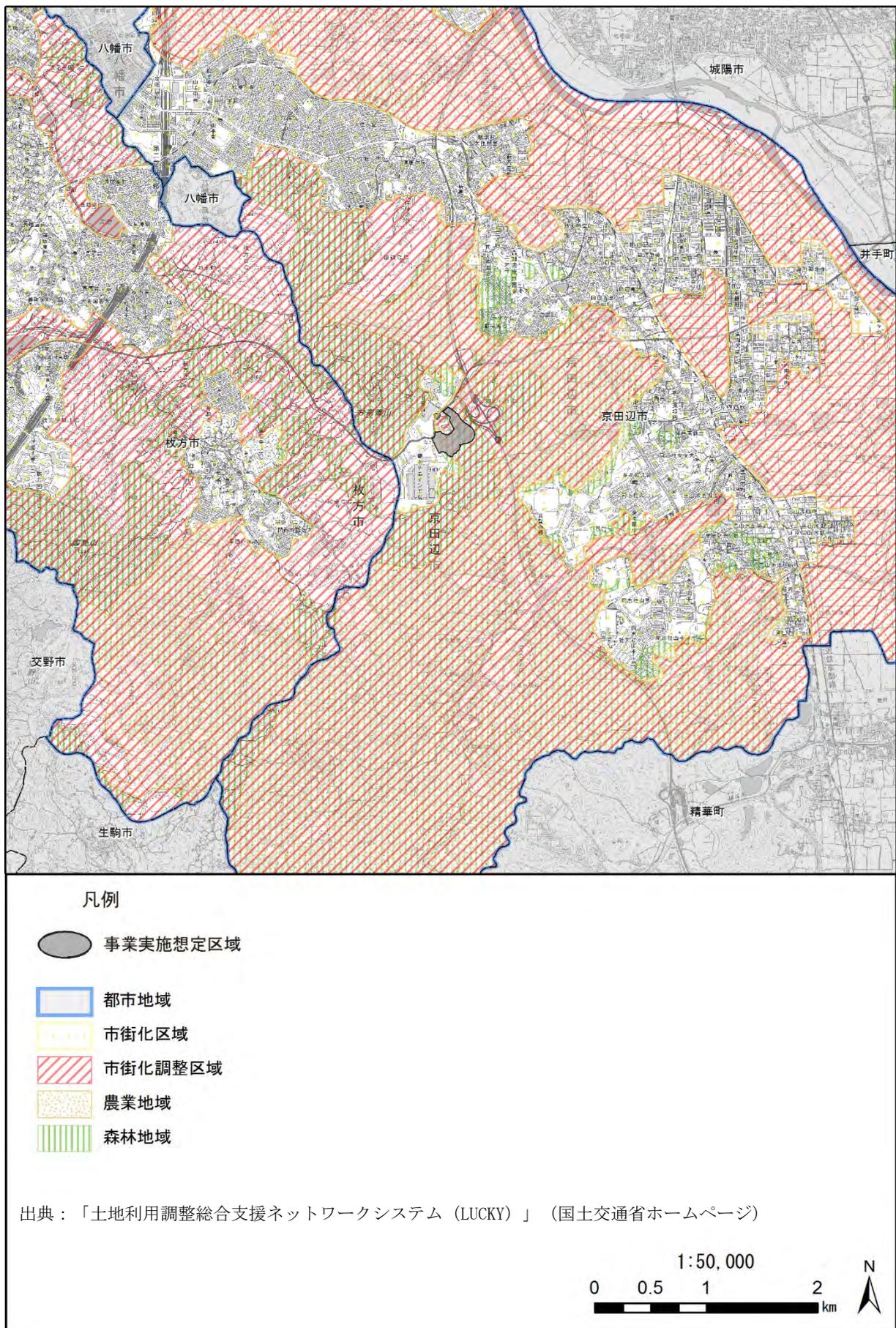


図 2-2.27 土地利用基本計画図